

《脱原発と私たち》

— 講演と討論の会 〈第27回〉 —

日時：2019年5月18日（土）14:00-17:00

場所：世田谷区 宮坂区民センター 3F 中会議室（世田谷線 宮坂駅 下車0分）

講演：「自然エネルギー発電の現状」—— 原発・化石燃料からの脱出 ——

語り手：西田 進

1935 年大阪生まれ、工学部卒（通信工学専攻）、民間企業で高エネルギー加速器、通信システム、医用 X 線 CT の開発などに従事、宇宙開発事業団（JAXA の前身）で人工衛星の設計に従事、大電力マイクロ波電子管の研究で工学博士

温室効果ガスによる地球温暖化は疑いの余地がない状況になった（IPCC 第 5 次報告書）。これを受けてパリ協定では、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2度未満（できれば1.5度未満）に抑える必要があるとしている。温室効果ガスの主なものは化石燃料の燃焼から生じる二酸化炭素 CO₂であり、これを大幅に削減する必要がある。二酸化炭素排出削減には、化石燃料を使用しない原子力発電所（原発）を活用すべきだとの論もあるが、原発事故のリスク、高レベル核廃棄物の処分のめどが立たないリスク、そもそもウラン燃料枯渇のリスクがあるといわれている。化石燃料や原発に頼らずに市民生活・生産活動に必要な電力を得るには、自然エネルギー（再生可能エネルギーともいう）が不可欠となる。

今回は、自然エネルギーの定義、自然エネルギーにはどのようなものがあるか、また化石燃料や原子力にとって代わるだけの量があるのか、世界の中で日本の状況はどうなっているのか、などについて考える機会としたい。



東急世田谷線 宮の坂駅下車0分

討論 「脱原発を考える」 資料代など：500円

主催：「脱原発を考える会」、協力：「チーム世田谷」

世話人1：児 玉 三枝子：主婦、世田谷区宇奈根在住（連絡先：03-3415-6873）

世話人2：小 西 怜 実：主婦、世田谷区喜多見在住（連絡先：03-3416-3894）

世話人3：宇都宮 和 代：主婦、世田谷区弦巻在住（連絡先：03-3429-4708）

世話人4：桑 折 恭一郎：技術士、世田谷区新町在住